

鼻から届ける、新しい子宮頸がん治療

HPV 由来抗原とナノゲルを用いた経鼻治療ワクチン開発

千葉大学附属病院 ヒト粘膜ワクチン学部門
／未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
(cSIMVa)
中橋 理佳 特任准教授



Issues



既存治療の負担
(副作用・後遺症)



不妊・流早産など
婦人科 QOL 低下



既感染者に
現行ワクチン無効



Needs

新しい治療法の開発

Technology



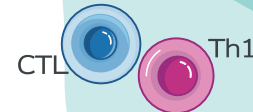
E7
ワクチン成分

カチオン化ナノゲルが
ワクチン成分を守って届ける！

cyclic-di-AMP
免疫反応を高める
補助成分

ナノゲル HPV
経鼻治療ワクチン

がん細胞の攻撃部隊
(免疫細胞) を誘導



届き先 (がん) 指定で
免疫細胞が移動

HPV
特異的抗原
E7 発現



排除

効率よく
がん細胞を攻撃！

Future

身体への負担が少ない治療

治療の新しい選択肢を創出

前臨床 → 臨床試験へ

他がん種への応用可能性